

# もうすぐ1年生



富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



平成30年度当初予算決まる 2

4人が町の課題を問う 7

おじゃまします 12

前年比1.5%増

平成30年度

一般会計予算

# 83億6319万円

平成30年3月定例会を3月2日から15日まで開催しました。

29年度補正予算、条例制定・改正、30年度一般会計予算などを慎重に審議しました。

なお、30年度当初予算は、4月に町長および町議会議員選挙を控えていたため、経常経費を主とし、補助金申請等の都合により当初予算に計上しなければならない政策的予算を加えた骨格予算となりました。



## 土木費

7万7712円

(11億9614万円)

建物の建設や維持管理、  
道水路整備、大型設備の  
購入など

## 民生費

16万372円

(24億6845万円)

社会福祉、高齢者、障がい  
者、児童福祉費、保育所運  
営費など



## 教育費

3万9431円

(6億0692万円)

学校教育費、生涯学習費、  
社会教育費など

## 消防費

2万224円

(3億1128万円)

防災費、消防団費など

## 町民1人あたり

# 約54万円負担

## 人口15392人

(平成30年4月1日現在)

## 衛生費

9万8996円

(15億2375万円)

保健事業費、環境衛生費  
など



## 公債費

5万6790円

(8億7412万円)

借金の返済(元金、利子)

## 総務費

5万9494円

(9億1573万円)

職員の給与、町長および  
各種委員などの報酬など

## 農林水産業費

1万2269円

(1億8885万円)

農業費、林業費、国土調  
査費など

## その他

1万8058円

(2億7795万円)

議会費、商工費など

※千円以下は四捨五入しています。

※( )内は平成30年度予算額

※一人あたりの額はH30.4.1日現在

人口15392人で割った金額

# 新年度の注目事業

- ・ふるさと納税報償費 1500万円
- ・町長および町議会議員選挙 2356万円
- ・合同庁舎建設用地購入費 800万円
- ・合同庁舎建設地物件補償費 5500万円
- ・大法師線物件補償費 5250万円
- ・大法師線用地購入費 880万円



ふるさと納税返礼品パンフレット



合同庁舎、大法師線建設予定地

- ・町民体育館解体設計業務費 169万円
- ・リニア側道測量設計業務費 2400万円
- ・高下地区リニア工事用道路費（JR東海が負担） 2億円

- ・ますほ児童センター解体設計業務委託費 178万円
- ・富士川町児童センター建設監理業務委託費 854万円
- ・富士川町児童センター建設費 3億4200万円
- ・峡南医療センター企業団運営負担金 3億1911万円
- ・峡南医療センター企業団貸付金 6億2500万円



児童センター建設予定地

## 平成30年度特別会計予算

(前年比%)

国民健康保険	18億4961万円 (△8.8)	箱原農業集落排水事業	1319万円(△19.9)
後期高齢者医療	3億5582万円 (△2.7)	鹿島財産区	8万円 (△9.0)
介護保険	18億6915万円 (1.9)	カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区	44万円 (△1.1)
介護サービス事業	8559万円(△11.2)	かじかの湯事業(新規)	4130万円( - )
奨学金	72万円 (0)	峡南地区ことばの教室共同設置	184万円 (6.4)
簡易水道事業	7851万円(△39.3)	峡南地区充指導主事共同設置	88万円 (0)
下水道事業	7億5618万円 (△8.9)	水道事業会計	2億7959万円 (1.6)
営農飲雑用水事業	204万円(△17.1)		

# 予算特別委員会

## 一分科会報告

### 総務産業建設分科会

#### 【上下水道課】

**問** 使用料歳入に過年度分の計上があるが、全件口座振替ではないか。

**答** 引き落としができない時に過年度分として徴収する。

**問** 営農飲雑用水事業特別会計の償還期限は。

**答** 平成50年度まで。

#### 【土木整備課】

**問** 戸川維持管理費補助金の内容は。

**答** 県が河川内の伐採、しゅ

んせつを行い、その後の維持管理を行うモデル的事業で、その管理費補助として27万円を計上した。

**問** 農地環境整備事業費の内容は。

**答** 箱原地区の水路整備と鳥屋地区の鳥獣害防止電気柵の整備である。

#### 【都市整備課】

**問** 公園遊具点検業務委託料の内容は。

**答** 年1回の点検が義務化されている。公園施設点検管

理士等の資格が必要で、県内には1社しかない。

**問** 町有住宅室内改修工事費270万円を計上してあるが何戸分か。改修した成果は。

**答** 2戸分で、改修した部屋は全て入居している。

#### 【財務課】

**問** 職員人間ドック助成金の内容は。

**答** 4分の1の助成を行う。

**問** 公会計システム支援委託料の進捗よく状況は。

**答** 平成29年度決算から本格稼働する。

#### 【政策秘書課】

**問** フォトリゲイン大会負担金の内容は。

**答** 市川三郷町との合同で開催する。写真撮影をしながらオリエンテーリングのように廻るもので、6月を予定している。

#### 【防災課】

**問** 交通安全対策費の工事請負費の内容は。

**答** ガードレール等の設置費で、地区からの要望に応じて

実施していく。

#### 【税務課】

**問** 個人町民税が増えている要因は。

**答** 景気回復等もあり所得割の増加が見込まれる。

**問** 個人町民税滞納繰越分が減っている要因は。

**答** これまで徴収率アップに努めてきたこともあり、繰越分は減っている。

#### 【産業振興課】

**問** 農業委員会費の青年就農給付金の対象者は。

**答** 夫婦に平成28年から補助していて、夫婦の場合は1人補助の1.5倍になる。

**問** 峡南森林組合職員設置事業負担金の内容は。

**答** 峡南3町で、均等割、面積割で負担している。

#### 【かじかの湯事業特別会計】

**問** 利用者の目標は。

**答** 4万5千人を見込んでいる。

**問** 一般管理費の賃金の内訳は。

**答** アドバイザー1人、施設職員9人の賃金である。



整備される戸川

## 教育厚生分科会

### 【生涯学習課】

**問** 深沢幸雄展の内容は。  
**答** 名誉町民で昨年亡くなられたので、追悼展を行う。  
**問** 町立図書館建設設計業務に町の要望は反映されるのか。  
**答** 町立図書館基本構想の内容を国に上げてある。十分反映されると考えている。

**問** 町立図書館建設設計業務の国との内訳は。  
**答** 図書館部分は100%、共有部分は国が72%、町が28%である。

**【教育総務課】**  
**問** そよ風教室講師の報償費の内訳は。  
**答** 講師11人分、時給1500円で1回2時間である。

**【奨学金特別会計】**  
**問** 今までに貸し付けた返済状況は。  
**答** 16人で約600万円の貸付残があり、計画的に返済されている。

### 【福祉保健課】

**問** 訪問看護の内容は。  
**答** 介護保険を受けていない方で、病院から退院された方や障害のある方へ、月2回の訪問指導である。  
**問** 訪問リハビリの利用者数は。  
**答** 15人が利用している。

### 【介護保険特別会計】

**問** 生活支援体制整備事業委託の内容は。  
**答** 地域に出て地域の方たちと課題・ニーズ、対策と取り組みなどの話し合いを進めていく役割を持つ人で、1人社協に委託している。30年度は2人に増やしている。

### 【子育て支援課】

**問** 児童福祉総務費の予算が減額になったが、何人減ったのか。  
**答** 18歳以下の子どもが100人近く減少する。  
**問** 新児童センター建築工事費の内訳は。  
**答** 赤道付け替え工事

114万円、本体工事3億4300万円、電気工事4568万円、空調設備費4568万円、給排水設備3216万円、外構工事費5000万円その他で、総工費5億3000万円の見込みである。

### 【町民生活課】

**問** コンビニ交付システム負担金の増額の要因は。  
**答** 平成30年度にシステムを改修するため。  
**問** 年金システム改修費用の財源は。  
**答** 全額国民年金事務費交付金交付対象経費である。



## 予算特別委員会・全体会

3月2日の本会議で、予算特別委員会に付託された当初予算案について、3月7日、8日、12日に委員会を開き慎重審議を行った。討論なく、全会一致で可決した。

### 【予算特別委員会現地視察】

- ・町道青柳32号線整備予定地
- ・町有林（平林区地内）2カ所
- ・リニア工事用道路整備工事（穂積区地内）



リニア工事用道路予定地(穂積区地内)



町有林の視察

## 人事（敬称略）

富士川町人権擁護委員任期満了により再任

石坂 正継

（平成30年7月1日～平成33年6月30日）

富士川町教育委員会教育長任期満了により新任

野中 正人

（平成30年4月1日～平成33年3月31日）

## 【条例制定】

・富士川町指定居宅介護支援事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

## 【条例改正】

・富士川町特別会計設置条例の一部改正

富士川町かじかの湯事業特別会計を設置するための一部改正。

・富士川町行政財産使用料条例の一部改正

行政財産の使用料などの明確化を図るための一部改正。

・富士川町介護保険条例の一部改正

財政の均衡を図るため平成30年から平成32年までの保険料率の一部改正。

・富士川町保健福祉支援センター条例の一部改正

老人デイサービスの事業見直しに伴う一部改正。

・富士川町指定地域密着型サービスの人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正

介護保険法改正に伴う一部改正。

・富士川町病後児保育の実施に関する条例の一部改正

県内全域の病児・病後児保育施設利用の広域化に伴う一部改正。

・富士川町甲州鯉沢温泉かじかの湯条例の一部改正

かじかの湯の管理運営を直接町が行うための改正。

・その他法令などの一部改正による条例の一部改正  
8件

## 【不動産の譲与】

・旧増穂西小学校の校舎

木造2階建て、延べ床面積979㎡が、地域活性化の一助として民間事業者の「(株)氷室の里」へ譲与された。

## おもな質疑

**問** ふるさと納税の歳入が

384万円、歳出の報償費が255万円である。一般的には返礼品は納税額の3割から5割と聞いている。また、町が使える割合はどのくらいか。

**答** 平成29年度の寄附額見

込みは、当初予算で2200万円であった。12月末で3700万円の寄附があり、3月末までの総額は約4150万円が見込まれる。そのため返礼品3割とそれに伴う発送料等を計算し、寄附額を財源とするための収支同額で計上した。なお、町が使える額は、納税額の55%くらいである。

**問** 不動産売り払い収入638万5千円はこの売却か。

**答** 西の入分譲地1区画を617万4千円で売却。その他隣接地の売却21万1千円である。

**問** 保健衛生総務費の負担金補正681万7千円はなぜ増加したのか。

**答** 交付税の算定に新たに老健施設職員の共済費も加算された。当初予算の算定はなく、今回負担金として峡南医療センター企業団へ支出するものである。

**問** 特別会計設置条例の一部を改正し、町の直営とな

る「かじかの湯」を特別会計とする理由は。

**答** 収支と経営状況を明らかにするためである。

**問** 共生型地域密着サービスとは。

**答** 障害者事業所を利用して、介護保険に移行利用でき、介護保険に移行利用できる制度である。

**問** 4月から県へ移管する国民健康保険税は、現在市町村ごとに決めている保険税が、統一した税額になるのか。

**答** スタート時は統一されないが、統一される方向である。加入者の負担が増加しないよう見守る。

リニア側道の町道路線認定について

## 討 論

●**原案反対** 川口正満

道路認定の目的となぜ今認定が必要か、区民・町民へ説明する機会を持つてから提案すべきである。

●**原案賛成** 齊藤正行

土地所有者に税制優遇措置を受けるため、税務署との事前協議に必要である。

## 【採決結果】

●**原案に反対**

川口正満、青柳光仁  
堀内春美、市川淳子  
齊藤欽也

●**原案に賛成**

小林有紀子、深澤公雄  
秋山 勇、鮫田洋平  
長澤 健、井上光三  
神田 智、小林 進  
齊藤正行

# まちの課題を問う

斉藤 欽也 議員



**問** 町長給料値上げを提案しない理由は

**答** 3つの附帯条件があるため

**問** 厳しい財政状況の中にあつて、なぜ町長給与の値上げを諮問したのか。

**町長** 町村会および議長会で引き上げについて検討すべきとの申し合わせが行われた。昨年議会より議員報酬の見直しについての要望が出され、これを受けて特別職の給料および議員報酬について、特別職報酬等審議会に諮問した。

**問** 町の財政状況を勘案して諮問したのか。

**町長** 審議会に諮問し、通ったからといって上がるものではない。最終的には議会の議決である。

**問** 今回、議案提案をしない理由は。

**町長** 答申に3つの附帯意見（業務の効率化、職員定数の削減、住民の理解）がある。すべてが整っていないので給与改定しない。

**問** 元々、値上げする気がないのであれば、あえて諮問する必要はないと思うが。

**町長** 町村会から全国類似団体の水準へ引き上げるよ

う検討すべきとの通知がきたので、富士川町でもその作業に取り組んできた。

**問** 他の町村で値上げを諮問している所はあるのか。

**町長** 他の町村も準備はしていると思う。町村会からの通知よりも前に元の水準に戻したところが身延町と南部町である。元に戻すのではなく、町村会で指示された適正な内容の審議をしていただいた。

## 体育館建設について

**問** 町民体育館建設計画の進捗状況は。

**生涯学習課長** 基本計画検討委員会を設置し、建設検討委員会から報告された望ましい規模と機能について、内容を精査中である。

**問** 精査しているというところであるが、こうしたやり方は一般的か。

**生涯学習課長** 建設検討委員会の中で、いろいろな制約や制限があると意見が出しづらいとの意見が出され

たため、基本計画検討委員会では、条件や制約は設けずに本来に利用者の立場に立った意見をいただいた。一つ一つの部屋の内容を精査するために、この基本計画検討委員会を設置した。

**問** 過半数が同じメンバーで、似たような検討をしているのは無駄なことではないのか。

**教育長** 無駄ということはない。



検討委員会報告書

問 会議録を見やすく改善を

答 トップページのに掲載する

川口正満 議員



問 ホームページでは会議録公表が見つけにくい。公開される情報を町民にわかりやすく改善は。

政策秘書課長 審議会等の会議録は「富士川町審議会等の会議の公開及び会議録の公表に関する要綱」に基づき、公表している。いくつかの階層をたどる必要があり、分かりづらいつ感じることもある。トップページの次のサブメニュー町政情報の項目に内容を表示するなど、情報を容易に見つけられるよう改善していく。

問 28年3月議会で「透明性や公平性を確保するため」に町民が参加できる環境を整えることが重要であると答弁した。会議録が迅速に公表されているか評価は。

財務課長 委嘱状交付だけや現地視察の場合は、公表していない委員会がある。今後、その旨を公表するよう事務処理を徹底していきたい。

問 会議録公表が良い方向へ改善されているか。

財務課長 会議録の公表によって、町民の皆さまがどのような受け止め方をしているのかという情報は得ていない。

移住者を増やす状況は

問 移住者の声を参考にしているか。

政策秘書課長 29年から、実態把握アンケートに取り組み、移住のきっかけは就職や婚姻・出産・育児など。町を選んだ理由は「子育て環境・教育環境や気候・自然環境」が上位を占めた。

件数と人数は。

政策秘書課長 4年間の移住実態は把握していない。転勤などの移住希望による転入者を移住としており、29年度は、移住件数が117件、人数253人。

問 移住者を増やすための主な課題は。

政策秘書課長 移住者を増やすため「空き家バンク制度」に登録した物件に対し「空き家改修費補助金制度」や「中山間地域における住宅用地取得費補助金制



トップページの次に掲載される会議録

度」、「定住奨励金補助制度」など移住促進に努めている。空き家バンクへの登録物件が不足し、空き家の活用促進が課題である。

【他の質問事項】

- ・町づくりの町民参加について
- ・町民会館に代わる集会所について
- ・買い物弱者への対策について
- ・リニア騒音・振動、日照障害などについて

# 町の人口増加対策は

## 各種補助金制度で取り組んでいる

青柳光仁 議員



**問** 4年間の転入転出は。

**町民生活課長補佐** 26年から4年間の転入合計は1732人、転出合計は1898人である。

**問** 人口増加対策と実績は。

**政策秘書課長** 25年9月から「空き家バンク制度」を開始し28件の成約。翌年10月から「中山間地域等における住宅用地取得費補助金制度」で14件43人、「定住奨励金補助制度」で22件65人の実績である。27年から給食費の補助や子ども医療の窓口無料化を18歳に拡大、病後児保育の実施など、子育て支援事業で人口対策に

取り組んでいる。

**問** 町外から人を呼ぶことが町の活性化になる。増穂商業高校の統合後の跡地利用について、町も議会も短大設置を要望したが、その進捗よく状況は。

**政策秘書課長** 高校の跡地に専門職短大が設置されることは、峡南地域の活性化も期待でき、昨年10月に県へ要望した。県の跡地活用は示されず、動向を注視している。

**問** 10月から何ら要請はしていないというのか。

**町長** 県の総合政策部長、教育長とも会う機会があり、その機会には常に要請をしている。

**問** 北杜市では移住希望者に市営住宅をお試し住宅として提供し、17件の移住実績である。当町でもその考えはあるか。

**答** 町営住宅は公営住宅法で移住体験に活用できない。中山間地も含めて検討したい。

**問** 交流人口の観点から、

**旧五開小学校の利用状況は。**

**政策秘書課長** 28年度は208人、29年度は599人の利用で、各種キャンプ、稲作ツアー、町内イベントに参加した。

### かじかの湯の経営は

**問** 町営となるのに、支配人を一般募集した理由は。

**産業振興課長** サービスの充実と経営改善に取り組むため、実務経験と意欲のあ

るものを募集した。しかし、採用には至らず、現場経験のある経営アドバイザーを採用した。

**問** 送迎車両が必要と思うが、その予定は。

**産業振興課長** 車は8人から10人乗り、運転は職員を予定している。

**問** いずれ指定管理者を募集したり、地域の団体に任せるなど検討しているか。

**産業振興課長** 当面直営方式で行っていく。



町の直営となる「かじかの湯」

# 問 乳がん自己検診グローブの配布は

## 答 周知を図っていく

小林有紀子 議員



**問** 乳がんは、日本人の若い女性のがん死亡率の第1位。自分で発見できる唯一のがん。早期に発見すると治癒率は90%である。「乳がん自己検診グローブ」を無料配布し、乳がんに対する関心を高め、早期発見・早期治療につなげられないか。

**福祉保健課長** 自己検診をする際に「乳がん自己検診グローブ」を使用することにより、触感の感度が高まり異常を感じやすくなり、早期発見に繋がる。検診の意識づけや受診を促すために効果的であることから、

検診受診勧奨を進め、周知を図っていく。

**問** わずか300円で本町の女性の尊い命を救うことができれば、何十倍、何百倍もの価値がある。今、七大事業が町民の関心事になっているが、町民の命を一番に考え、一人ひとりの心に寄り添ったソフト分野の施策を取り入れていただきたい。医療費の削減、国保の財政削減にも繋がると考えるが。

**町長** まずは周知を図り配布方法を検討する。

**問** がん検診の啓発、周知の機会として成人式で配布してはどうか。

**町長** いい機会であり、検討していく。

**問** 外部講師を活用した「がん教育」推進の考えは。 **教育長** 福祉保健課と連携し、推進する。

### 女性視点での防災対策を

**問** 各避難所の耐震が非常に問題である。在宅避難を

他人事だと  
思っていますか？

日本人女性の  
11人に1人が  
生涯に乳がん  
になると言われています

がん罹患率の傾向(女性)

乳がんは  
30代から増え始め  
40~60代がピークです

でも乳がんは  
早期発見・治療  
で生存率が高まります

J.POSH 富士川町健康づくり推進センター  
http://www.jposh.com/

**防災課長** 各家庭において最低3日分の食糧備蓄をお願いしている。

**問** 日常の家庭の食糧備蓄の方法として、1週間分の食糧備蓄ができるローリングストック方法、備蓄するスペースの確保としての家の片づけ、防災食の調理方法のバッククッキングなど、女性の視点での防災対策を進めるため、女性の防災ア

可能にする備蓄の必要性は。

ドバイザーの講演会を開催し、防災に関する意識向上につなげる考えは。

**防災課長** 県などの研修会を活用していきたい。

**問** 女性の視点を生かした「防災ブック」の作成や、SNSを使い防災に役立つ情報発信の取り組みは。

**防災課長** フェイスブックを利用した情報発信を行うしていく。

# 8人のモニターさんから 感想・ご意見を 頂きました

改正した条例の  
具体的な説明が  
ほしい

特に問題となっている  
議題について、分かり  
やすくポイントを説明  
するコーナーを  
設けたらどうか

議会だよりを  
メール配信すれば  
負担は減ると思う

町民1人当たり  
に換算された資料は  
わかりやすい

青と黒の2色刷りが  
続くので、表紙と  
最終ページのカラー  
がホッとする

「有効に使われたか  
私達のお金」とある  
ので、実施した事業に  
ついて住民の声を  
取り上げるといい

シビックコアとは？  
など、わからない  
言葉に説明が  
ほしい

固い話なので  
字体をやわらかくして  
読者が入りやすく  
したらどうか

一般質問の  
「問」と「答」が  
色分けて  
分かりやすい

採決の賛成者と  
反対者の  
結果表示がいい



いただいた意見を反映して、より良い議会だよりの作成に努めてまいります。

## 1年間ありがとうございました。

### 議会広報モニター募集

議会では、町内在住の20歳以上の方（町職員・町議会議員とその家族を除く）で、議会広報の批評や提言、情報の提供をしていただけるモニターを次により募集します。

- ・募集人員 10人以内
- ・任期 1年
- ・締め切り 平成30年5月18日（金）
- ・お問い合わせ・応募先

議会事務局 ☎0556(22)7211

# 町民の活動を訪ねて おじゃまします

朗読発表会取材しました

取材日：3月3日

長澤健議員・秋山勇議員



今回は、朗読発表会におじゃましました。

主催している「朗読の会すずらん」では、月1回の定例勉強会、年1回の小中学生読書に親しむ会と小中学生を交えての発表会、芸能フェスティバルへの参加、その他ボランティア活動として広報ふじかわ、議会だよりの録音テープ作成を行い、視覚障がい者の方にも喜ばれています。

保育園児を対象にお話し会、図書館でのお話し会、デイサービスでの読み聞かせなどの活動を行っています。

現在は、22人の会員で活動しています。発表会にはたくさんの小中学生が参加し、楽しく活動しています。

## 参加者に聞きました

①参加したきっかけ ②将来の夢 ③富士川町のよいところ



矢野果穂さん（増穂小2年）

- ①ママが「出てごらん」と言ったから
- ②学校の先生
- ③みんなが優しい



若林いねさん（増穂南小1年）

- ①お友達が出て、お母さんが「やってみたら」と言ったから
- ②絵描きさん
- ③友達がいっぱいいる



岩間なつめさん（増穂小3年）

- ①おもしろそうだったから
- ②学校の先生
- ③みんな優しい、自然がいっぱい



石川達真くん（鵜沢小4年）

- ①3回目です。朗読の良さを感じたから
- ②大工さん
- ③空気がおいしいし水が綺麗、優しい人がいっぱいいる

## 「朗読の会すずらん」の活動

- 毎週1、2カ所、デイサービスを訪問して朗読
- 毎月2回、第4保育所で絵本の読み聞かせ。他の保育所も要望あればクリスマス会や、お別れ会に参加
- 毎月1回、図書館ロビーで子どもたちに絵本の読み聞かせ
- 3月、文化ホールで朗読発表会
- 年3、4回、文化ホールロビーで朗読カフェ
- かじかの湯座敷で朗読ボランティア
- 芸能フェスティバル参加（朗読）
- 視力障がい者へ、町広報を朗読し、録音テープを作成



皆さんも、活動に参加してみませんか？

これからも情報をお寄せください！

広報常任委員会

委員長 長澤 健

副委員長 青柳 光仁

委員 齊藤 正行・秋山 勇・川口 正満・深澤 公雄